

# 瀬戸内市(岡山県)の一体的実施

平成24年3月30日事業開始

市役所庁舎内に「ジョブスポットせとうち」を開設し、市とハローワークによる生活困窮者、障がい者、若年者及び子育て女性等に対する一体的支援等を実施

市

福祉サービス、相談の実施等

国

職業紹介・職業相談の実施等



## ① 事業内容

- ・市とハローワークの担当で「就労支援チーム」を結成し、生活保護受給者・障がい者、若年者及び子育て女性等に対する就労支援を実施(利用者に応じた「就労支援プラン」を策定)
- ・就職面接会や遠隔地での出張相談を実施

## ② 協定・事業計画

- ・瀬戸内市長とハローワーク西大寺所長の協定(\*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を瀬戸内市とハローワーク西大寺の間で策定

\* 本協定は、緊密な相互連携に基づく就労支援を実現することにより、支援対象者の早期再就職による自立の実現を図ることを規定

## ③ 事業実施協議会

- ・瀬戸内市職員、ハローワーク西大寺職員をメンバーとする事業実施協議会を設置

市役所内の「ジョブスポットせとうち」で、市と国の協働で「就労支援チーム」を結成し、付き添い型の綿密な支援を実施し、福祉から就労への支援を実現

## (1) 実施体制

### 市

- ・ 就労支援員1名を配置

### 国(ハローワーク)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名、職業相談員1名を配置
- ・ 求人情報提供端末3台、職業紹介端末3台を配置

## (2) 事業目標と取組状況

	29年度事業目標	取組状況(29年9月末時点)
生活保護受給者等	○支援対象者数 15人 ○就職者数 10人	○支援対象者数 10人 ○就職者数 10人
	(参考)28年度事業目標 ・支援対象者数 15人 ・就職率 60%	(参考)28年度取組状況 ・支援対象者数 20人 ・就職率 90.0%
障がい者	○支援対象者数 25人 ○就職者数 15人	○支援対象者数 9人 ○就職者数 9人
	(参考)28年度事業目標 ・支援対象者数 25人 ・就職率 60%	(参考)28年度取組状況 ・支援対象者数 22人 ・就職率 95.5%
子育て女性等	○支援対象者数 80人 ○就職者数 60人	○支援対象者数 28人 ○就職者数 28人
	(参考)28年度事業目標 ・支援対象者数 80人 ・就職率 75%	(参考)28年度取組状況 ・支援対象者数 86人 ・就職率 100.0%
市に居住する求職者等	○出張相談 12回 ○就職面接会 1回	○出張相談 9回 ○就職面接会 0回
	(参考)28年度事業目標 ・出張相談 12回 ・就職面接会 1回	(参考)28年度取組状況 ・出張相談 12回 ・就職面接会 1回

# 一体的実施事業による就職成功例

男性：20歳代（生活保護受給者）

希望職種：製造関係

※前職なし

## ① 抱える課題

- ・両親の離婚を境に当時の勤務先を退職し、その後約5年間引きこもりが続く状態。人との接触を避けている感が否めない。理想が高く現実とのギャップがある。
- ・自動車免許は所持しているが、移動手段がない。居住地の関係で公共交通機関の利用もままならない。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・瀬戸内市福祉課と連携し、支援員同席のもと相談を実施した。
- ・長期間就労から離れているため、トライアル雇用への応募、住み込みでの就業、事業所見学等を提案した。
- ・面談を重ねていくうちにこちらの提案も受け入れてくれるようになり、現状認識も出来るようになった。

## ③ 結果

- ・当初は本人の希望する大手事業所へ応募するも不合格が続いたが、原因分析により現状を認識することができるようになり、正社員で自転車通勤ができる事業所への採用が決まった。

## ○ ハローワーク担当者の所感

- ・年齢も若く就職に向けての障害は少なかったが、本人の理想と現実のギャップを少しずつ埋めていくことに苦労した。瀬戸内市福祉課との連携により、本人のモチベーションを下げないようにした事が結果に結び付いたと思う。

## ○ 本人のコメント

- 「ブランクを心配していましたが、職場環境もよく、自宅から近いので負担も少ない。定年まで勤務できるよう頑張ります。」との力強い発言があった。

# 一体的実施事業による就職成功例

男性：50歳代（生活保護受給者）

希望職種：軽作業

※前職アルバイト

## ① 抱える課題

- ・家族はなく一人で生活している。頼れる身内もない。
- ・対人に不安を感じ、人と接することが苦手なため、就職しても長続きしない。離転職を繰り返している。
- ・耳に疾患がある。腰を痛めていたが、快方に向かっている。
- ・居住地の関係で公共交通機関の利用が難しい。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・瀬戸内市福祉課からの情報提供を基に連携して支援開始。
- ・軽作業を中心に体力的にも問題がない週5日勤務の就労を目指し、定期的な相談を促した。
- ・未経験の職種より経験職種への応募や職場見学後の応募を提案した。
- ・面談を重ねていくうちに本人の表情も明るくなっていった。当初は渋っていた応募書類の添削も、本人の良い点を見出すことで自分から希望するようになり、就業意欲が上がっていった。

## ③ 結果

- ・事前に職場見学をしてもらい、具体的に仕事内容を確認したうえで応募。倉庫内での発送・到着荷物の仕分け作業での就業が決まった。

## ○ ハローワーク担当者の所感

- ・対人の不安を少しでも解決すべく、次回面談の予約のほか、電話で定期的に近況確認をすることなどで、少なからず信頼関係を構築できたと思う。
- ・瀬戸内市福祉課との調整により、バイク通勤が可能となり、就業場所が広がったことが就職に結びついた一つの要因。

## ○ 本人のコメント

「多少の不安はありますが、経験したことがある職種のため、自信はあります。最初はパートですが、いずれはフルタイムを目指して頑張っていきたい。」